

これを次世代!新しい学びのかたち

小樽商科大学の アクティブ ラーニング

近年、学校での授業の在り方が変わってきています。その中で注目されているのが、教員と学生・生徒が双方向でコミュニケーションをとり、能動的に学びを深める「アクティブラーニング(以下AL)」と呼ばれる学習・指導方法。そのための先進的な環境整備をいち早く実現しているのが小樽商科大学です。

Active Learning!



小樽商科大学の「アクティブラーニング」とは

小樽商科大学は、教育環境の改善や地域との協働による、教育の質の向上に力を入れてきました。その一環として、平成23年度からIT環境整備等に着手。大掛かりな工事を行うことなく、ICT機器や照明器具などを取り付けられる内田洋行の空間情報システム「SmartIn(スマートインフィル)」を導入し、主要13教室や附属図書館を改修しました。



講義室にはWiFi環境が完備され、大きなタッチパネルディスプレイ、スクリーンやプロジェクター、電子黒板などの先進ICT機器が完備され、授業を収録したり、自習用コンテンツを配信するシステムも整っています。学生は教員や学生同士とコミュニケーションをとりながら授業を受けることで、自主的に学ぶ力を身に付けることができます。

「アクティブラーニング」でもっと学びを面白く。

さまざまな授業や講演会でAL環境を活用している小樽商科大学。「反転授業」という形を取り、学生たちは事前にデジタル配信された課題を学習し、知識を蓄えた上で授業に参加。教室では教員と学生がコミュニケーションをとり、知識の確認や問題解決学習を行います。オンライン上に自分の意見を書き込み、200人以上の学生がその情報を共有し議論を交わすことで、多様な価値観を学び、知識を深めていくことができます。



小樽商科大学 NEWS

グローバル戦略推進センター設置

平成25年に「No.1グローバル大賞」を受賞し、グローバル人材を育てる地域(北海道)の教育研究拠点として、グローバル戦略推進センターを設置しました。グローバル大学を模索するに当たり、①地域、産業界との交流、②留学生と日本人学生の交流、③多言語、異文化理解、④学生組織の交流の4つをテーマとし、内田洋行の空間コンサルティングによる環境整備を行いました。

Interview

進化した学修環境のリノベーションを展開



理学部 社会情報科学専攻 大澤 昌 学長特別准教授(アクティブラーニング推進及びAP推進)
「真にグローバル人材の育成」を掲げる小樽商科大学は、講義室や附属図書館のアクティブラーニング対応に際して、実学実践の風土を築き、学生意識サポートチーム、学内外の多様なステークホルダーとの連携を強化するための「コラボルーム(Co)」、留学生との交流に加えて海外派遣事業の推進も実施する(グローバルワンジ)など、さらに進化した学修環境のリノベーションを展開し、次世代のアクティブラーニングに向けてさらに加速しています。

実学に触れ、活動の幅が広がりました

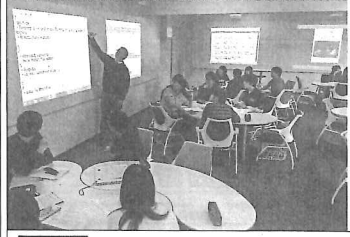


理学部 3年 戸崎 映穂さん
株式会社SEA-NAIは、ゼミが卒業して学生が起業した会社ですが、大学がビジネス活動をサポートしてくれています。学生起業サポートチームは、学外の方との打ち合わせや経営者とのイベントに活用でき、活動の幅が広がりました。これに感謝された理由は、「実学」重視の小樽商科大学らしさが染み出ている。

語学を学ぶ意欲が高まりました



理学部 3年 藤田 朱里さん
グローバルマネジメント国際プログラムに所属し、複数の海外研修に参加しています。研修機会が豊富でグローバルラウンジは、専攻は留学生や日本人の友人との交流の場として、サークル活動にも使用しています。語学や国際交流への関心が高くなり、学ぶ意欲が高まりました。今後はヨーロッパの海外研修に参加したいです。



「ぐりとぐら」カステラ再現

樽商大、小樽図書館 6日イベント

人気絵本「ぐりとぐら」に登場するカステラを作る、小樽商大と市立小樽図書館共催の子供向けイベントが、来年1月6日午後2時から、小樽市勤労青少年ホーム(緑1)で開かれる。

樽商大で科目「商大生が小樽の活性化について本気で考えるプロジェクト(マジプロ)」を履修する1年の女子学生2人が図書館の活性化をテーマに企画。

絵本は双子の野ねずみが森の中でカステラを焼き、動物たちと分け合って食べる物

子供向け、読み聞かせも

語で、メンバーの田中日奈子さん(19)は「ぐりとぐらのカステラの印象は今も強く残っている。子供たちは食に強く興味を引かれるので、図書館の利用増につながれば」と狙いを話す。

絵本の通りに卵、小麦粉、バター、牛乳、砂糖の5種類の食材で調理して、みんなで味わう。会場には「ぐりとぐら」シリーズ3冊の絵本などを用意し、読み聞かせを行う。

対象は小学生以下で、定員18人。参加希望者は名前、年齢、連絡先を記入し、1月4日までに電子メール(maji.ouc.library@gmail.com)で申し込む。電話での申し込みは4日のみで同図書館☎0134・22・7726へ。
(峯村秀樹)